

衆議院衛視採用案内

国権の

最高機関で働く



衆議院事務局警務部



国旗掲揚

衆議院衛視とは

衆議院事務局の警務部に属し、身分は国家公務員の特別職です。国会議事堂において、衆議院議長の指揮の下に議院内部の警察を行うことを本務としています。



朝の点検

私たちが守る

各所における勤務



衛視は衆議院の各門・各入口・議院内部において、通行者の「記章及び帯用カード等」の点検を行います。

要所を護る



本会議・委員会における勤務



本会議や委員会等において、本会議場及び委員室等の内外に勤務配置しています。傍聴人の手荷物検査及び身体検査は衛視が行います。



秩序を擁る

要人を護る

内閣総理大臣警護



議長警護



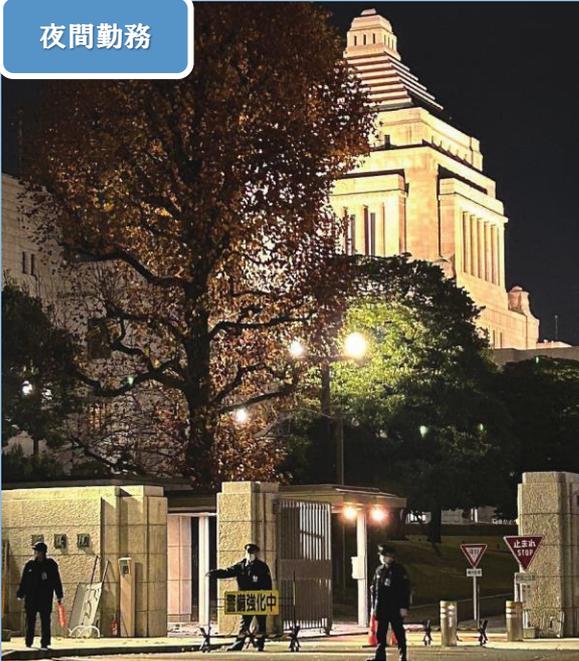
衆議院議長・副議長のほか、内閣総理大臣や国内外から訪れる賓客の警護は、経験豊富な衛視が担当します。

24時間衛る

賓客警護



夜間勤務



衛視の勤務は2交替制で、8日ごとに夜勤を行う勤務ローテーションになります。



夜勤用寝室(男・女)及び、浴室(男・女)を備えています。





参観者を案内する

参観案内

社会科学見学や修学旅行の学生、観光客、海外からの旅行者など、年間約50万人訪れる参観者を案内するのも、衛視の大切な仕事です。

英語や手話による参観も行っております。



消防・防災

大規模地震や火災等発災時には、初期消火・避難誘導・救助活動等を行います。衛視の約半数が、消防・防災に関する各種資格を有しています。

有事に備える

有事に備え、消火栓操作法や心肺蘇生法の習得、警棒の扱い方の体得などの訓練を行います。



心身を鍛錬する



各種研修

衛視としての資質・見識を高めるため、初任者及び昇任に伴い実施しています。参観案内のための手話・英語の習得等、各種研修を行っています。

柔道・剣道は業務の一環で行っており、衛視の職務の基本となる「心技体」を磨きます。

礼服

開会式や賓客来訪の際は、「礼服」を着用してお迎えます。



賓客を迎える



研鑽を積む

先輩からのメッセージ

きっかけは国会参観



令和2年入局 保田 菜月

私が公務員を志す中、衛視という職業を目指したのは、実際に働く衛視を近くで見られる国会参観に参加したことがきっかけです。門で凛々しく立つ衛視と、参観案内をしてくれた親しみを感じる衛視とのギャップに惹かれて受験を決めました。その強い思いを持ち努力した結果、今、衛視として勤務しています。

私が衛視として仕事をしていく中で一番大切だと感じたことは、コミュニケーション能力です。衛視として働くと、子供からお年寄りまで、また外国の方から国会議員まで、様々な世代の様々な立場の方と話す機会があります。親切丁寧な応接が基本ですが、時には毅然とした態度で接することが必要な場面もあり、状況に応じて柔軟な対応を求められ、日々の勤務を通じて自身の成長を実感することができます。

職場内の雰囲気はとてもよく、経験豊富な先輩方から、対応する相手に応じた接し方や話し方などを丁寧に指導してもらえます。また、工作中だけでなく、休日に旅行やバーベキューに行ったりと、仕事以外の面でも職場の方と親睦が深められます。

皆さんは普段、衛視という言葉に馴染みのない方がほとんどだと思います。私たち衛視は国会議事堂を24時間警備しており、立番のほかにも、要人警護や参観案内を行っております。常に緊張感を必要とする仕事ですが、参観に来られた方からお礼の言葉をいただいたり、お手紙をいただいた時には心から嬉しく、また誇らしく思います。

制服を着て国権の最高機関で働くという、誇りある仕事に興味をもっていただけたら嬉しいです。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

少しでも興味があるなら



令和3年入局 平福 柁之介

皆さんは“衆議院衛視”という職業をご存じでしたか？おそらくこのパンフレットを手にとって初めて知った方が多いと思います。

私たち衛視は議院警察を担っており、国会議員が安心して政治活動に取り組めるようサポートを行う“衆議院の安全を守るプロフェッショナル”です。その職務内容は、各出入口で通行証の確認を行う立番勤務、衆議院議長や内閣総理大臣、賓客等の要人を護る警護勤務、火災や地震などの災害に対応する消防や防災活動、国会議事堂を見学に訪れた方を案内する参観勤務など多岐に渡ります。

入局後は衛視として、また社会人としての基礎を身に付ける研修があり、社会人経験がない方でも安心して仕事に臨むことができます。仕事に対する姿勢は、やる時はやる、休み時は休むとメリハリが利いており、活気にあふれた雰囲気の職場です。また、年齢や性別を問わない交流があり、私は退庁後に上司や同僚と一緒にランニングをするなど、仕事以外の面でも充実した毎日を送っています。

国会で働くことに少しでも興味がある方は、ぜひ一度国会議事堂を訪れてみてください。実際に国会で働く人の姿を見て、政治の空気を肌で感じたら、きっと少しの興味が大きな憧れに変わります。

Q&A 衛視を志望する方へ

◆ 衛視はどんなことをしているのですか？

議長の指揮の下、議院内部の警察の執行を担っています。衆議院各入口、本会議場、各委員室の警備や、議長、副議長、内閣総理大臣のほか、国内外から訪れる賓客の警護。ほかにも消防、防災に関する業務や見学に来る参観者の案内など、業務内容は多岐に渡ります。

◆ 勤務形態はどのようになっていますか？

週休2日、2交替制の勤務で、8日ごとに夜勤を行います。日勤の勤務時間は9:00～17:30、夜勤の勤務時間は17:00～翌10:00です。それぞれ、会議等の院内状況により延長勤務になる場合があります。

◆ 給料や手当について教えてください。

給料は議院警察職給料表が適用され、手当等は一般職の国家公務員と同様に支給されます。給料のほかには6月期、12月期に期末・勤勉手当が支給されます。また、通勤手当、超過勤務手当等がそれぞれ個人の状況に応じて規定の範囲内で支給されます。

初任給の例(令和5年4月1日現在*地域手当含む)	
短大卒(専門2年卒含む)	月額 244,920円
高校卒等	月額 230,880円

*月額、パンフレット編集時点での規定に基づく額です。

◆ 法律に詳しくないと働けませんか？

心配には及びません。採用後に関係法規等の研修を行います。また、研修を受け勤務にあたることで法律に興味を持ち、勤務終了後に2部大学に通っている者もいます。

◆ 武道未経験でも大丈夫ですか？

大丈夫です。柔道・剣道は業務の一環として行っております。未経験の方でも採用後の研修において、柔道・剣道有段者による指導を基礎から受けることができます。また、両道場を備えており、柔道・剣道のサークル活動も行っています。

◆ 休暇制度を知りたいのですが。

年間20日の年次休暇のほか、特別休暇(結婚・保育・看護・夏季・忌引等)、介護休暇、育児休業などがあります。

◆ 福利厚生等はどのようになっていますか？

衆議院共済組合員として、組合の給付等を受けることができます。健康管理、年金制度、財形貯蓄といった生活保障・サービス等、様々な福利厚生事業が行われています。なお、宿舎に関しては、衆議院独自の男女独身寮及び世帯用宿舎があるほか、財務省の管理する合同宿舎(独身用・世帯用)などが都内及び近県にあります。

◆ 受験予定ですが職場見学はできますか？

警務部総務係(下記電話番号)までご連絡いただければご案内いたします。ただし、院内状況によりお断りする場合があります。

衆議院事務局チャンネル 衛視

検索



衛視の職務内容が動画でご覧いただけます。



〒100-0014

東京都千代田区永田町1-7-1 衆議院事務局警務部

03(3581)5111(代表)

警務部総務係(内線 33701)

衛視採用試験についての詳細は、別紙「衛視採用試験案内」をご覧ください。試験に関する最新の情報は、衆議院 HP まで。